

第310回

現地開催（会場：5階大講堂）

都立大塚病院 地域連携医科研修会

日時

令和8年7月9日（木）

19:30~20:00

演題：「生殖補助医療の実際と新たな展開」

講師：産婦人科 医長 眞田 裕子

カリキュラムコード：0

※本研修会は、日医生涯教育講座の対象ですので、参加証（0.5単位）をお渡しいたします。

日本の合計特殊出生率は年々低下しており、2024年には1.15と過去最低となった。このような少子化の進行には種々の要因があるが、その中の一つとして女性のキャリア形成に伴う晩婚化・晩産化が関連していると考えられる。加齢に伴う妊孕能の低下は避けられず、不妊治療の重要性は年々高まっており、生殖補助医療（ART）は不可欠な役割を担っている。このような背景を踏まえ、2022年よりARTを含む不妊治療が保険適用となり、さらに本年8月には当院でも生殖医療外来を開設する運びとなった。

本講演では、一般不妊治療からARTに至るまでの基本的な治療について解説する。さらに、このART技術は、AYA世代のがん患者に対する妊孕性温存治療や、社会的適応による卵子凍結にも応用されている。生殖医療を取り巻く環境は大きく変化しており、地域医療を担う方々にとっても理解が求められる分野である。講演を通じて、理解の促進と診療連携の強化を目指したい。

お申し込み方法

- 事前お申し込み制です。
- ご希望の方は下記内容を左下のGoogleフォームにご入力ください（参加無料）
①氏名 ②職種 ③所属施設名 ④所属医師会 ⑤電話番号 ⑥参加証の希望
- 申し込み締め切り日：令和8年7月2日（木）
- お申し込み締め切り後に、ot_renkei@tmhp.jp よりご連絡させていただきます。

※8月より生殖医療外来（不妊治療）を開始するにあたり、ご希望の方を対象に、外来ブースの内覧会を下記のとおり実施いたします。ぜひご参加ください。

- ・18:30~19:15までに研修の受付を行った方
- ・研修終了後（20:00）から懇親会開始（20:15）までの間

【お問い合わせ先】大塚病院 患者・地域サポートセンター 地域連携支援グループ 横山

電話 3941-3211 内線 2138

